



各位

2006年11月8日

会社名：株式会社ディー・ディー・エス

代表者：代表取締役社長 三吉野 健滋

(東証マザーズ コード番号 3782)

問い合わせ先：取締役管理本部長 藤浪 育夫

電話番号 052-533-1110

(URL <http://www.dds.co.jp>)

車載用ワンセグチューナーの開発・製品化に成功。

ユビキタス社会の到来に向け、セキュリティ、モバイル、ITSなど5大市場に挑戦を続ける当社は、このたび「車載用ワンセグチューナー」の開発及び製品化に成功いたしました。

1. 概要

当社は、ユビキタス社会に必要不可欠である組込み技術に関し、様々な要素技術を具体的な製品やサービスとして形にする高い能力を保有しています。

今回、その技術を活かして、車載用ワンセグチューナーを開発いたしました。

本製品は、自動車用品の製造販売で大きな実績を持つ株式会社サンヨーテクニカ（本社：東京都、代表取締役社長 沖島 清）を通じて全国の自動車用品販売店やホームセンターなどで2007年2月より販売され、当社は年明けに出荷を開始する予定です。

ワンセグとは？

地上デジタルテレビ放送のうち移動体向け放送のことで、2006年4月1日より放送が開始されました。携帯電話やチューナー内蔵カーナビなどの専用受信機はもちろんですが、ワンセグチューナーとよばれる外部チューナーとアンテナを接続すれば、従来の受信機でも視聴可能です。

ワンセグの移動中の受信能力は、アナログはもちろんのこと通常の地上デジタル放送を上回ります。対応エリアも広いため、走行中に最も切れにくいのがワンセグです。

また、地上デジタルよりも解像度は低いものの、アナログよりもはるかに綺麗であるほか、小型化が可能で、消費電力が小さく、車載を含めた移動向けにはワンセグの優位性が際立っています。

また、カーオーディオ使用者の中で、車載TVやデジタルTVに対する関心、ニーズは高

まっております。今後は車載AV機器にワンセグを含めたデジタルTVが急速に浸透してゆくことが予想されます。

カーナビ市場の拡大

今回製品化した車載チューナーが接続可能な市販品カーナビ保有数は、2005年で約6,500千台と推計されています。2005年時点で市販カーナビは100%アナログ仕様で、デジタルチューナー内蔵品はゼロとなっています。

今後もカーナビ市場は拡大を続け、2008年には市販品の累計数は約10,000千台へと増大すると予想されています。(各種統計資料等を元に当社推計)

2. 株式会社サンヨーテクニカの会社概要

所在地：東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル3F

代表者：代表取締役社長 沖島 清

設立年月：1974年7月

資本金：9,000万円

社員数：80名

事業内容：自動車用品の製造販売

関係会社：上海三耀電装有限公司（中国上海市）

<主な取引先>

SPK株式会社、エンパイヤ自動車株式会社、株式会社イエローハット、株式会社オートアールズ、株式会社オートボックスセブン、株式会社カインズ、株式会社コメリ など

<主な仕入先>

加賀電子株式会社、セイコーエプソン株式会社 など

3. 今後の見通し

2006年度の売上、利益に対する影響は軽微であります。2007年度には年間3万台の出荷を見込んでおります。

4. ユビキタス社会到来へむけた今後の展開

今後ディー・ディー・エスでは「車載用ワンセグチューナー」の拡大に注力することはもちろんですが、組込み技術を活かした本製品の開発を契機に、

- (ア) 移動に強い
- (イ) 受信機の小型化が可能
- (ウ) 消費電力が小さい
- (エ) 小画面における高画質

といったワンセグの特徴を活かした幅広い製品展開を検討しています。

具体的には、汎用性のあるPC・PDA用受信機、ポータブルTV・DVD用外付けチューナー、ポータブルDVDプレーヤー、ポータブルTV、ポータブル音楽端末、ポータブルゲーム機などです。

また、当社では、ユビキタス社会の到来と共に組み込み技術の重要性は益々増大し、急成長を遂げると考えており、そうしたフォローの風の中、産・官・学連携の強みを活かし、当社の中核能力である「先端技術の目利き」と「組み込み技術における高い技術力」でセキュリティ、モバイル、アミューズメント、ITS、ロボットという成長著しいユビキタス5大市場を積極的に開拓していく考えです。

以上